

卓球用フロアマット コネクトマットT



「コネクトマットT」は、試合会場ごとに施工・撤去ができる
床材メーカー東リが開発した新しい卓球用フロアマットです



東リ株式会社



T.LEAGUE
卓球でつなぐ、未来へ—

東リ 卓球用フロアマット

コネクトマットTの特長

選手の成長を支える

・国内トップリーグ「Tリーグ」の試合で使用されている卓球用フロアマットです。

足元から支える

・適度なグリップ感を付与したフロアマットは選手の足元を支えます。
・ボールに対して視認性の高い赤色を採用し、競技の質を高めます。

会場設営を支える

・裏面の特殊吸着フォームにより、大会やイベントごとに繰り返し使えるマットです。
・900mm角のタイル形状により、施工性がアップします。

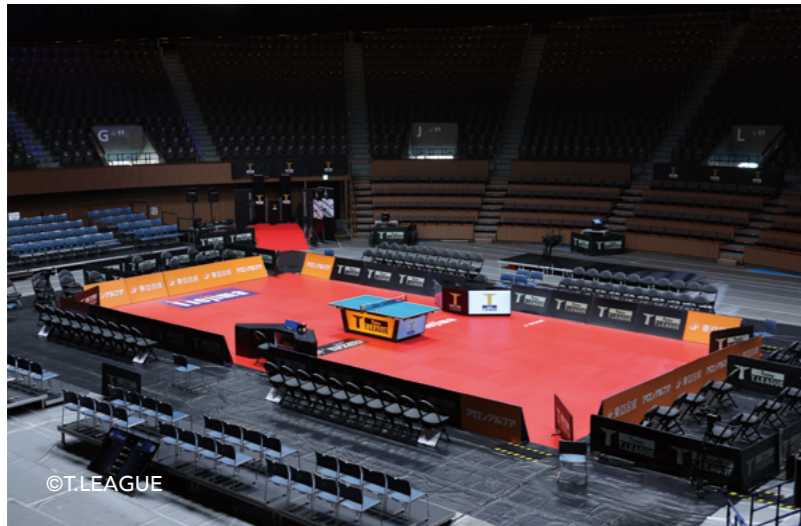
美観を支える

・剥がし貼り替えが可能のため、マットローテーションにより美観を維持できます。
・マット表面は独自の防汚性能で優れたメンテナンス性を発揮します。

安心の日本製

・自社の国内工場で生産しています。

コネクトマットTの使い方



©T.LEAGUE

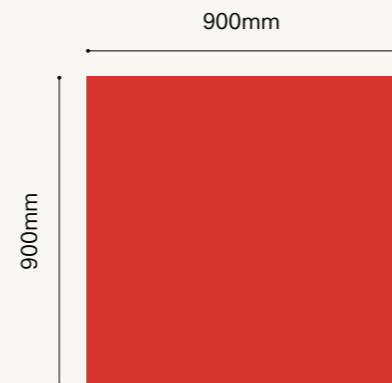
仮設使用

体育館床に、設置及び撤去ができます
数日間の大会やイベントに最適

常設使用

既存床の上に施工して使用します
卓球教室等に最適

価格 9,800円 / 枚 (税抜き価格)
全厚 2mm UV樹脂コーティング
寸法 900mm × 900mm (四面R面取)
※裏面特殊吸着フォーム
重量 1.9kg / 枚
日本製



東リ 卓球用フロアマット

コネクトマットT【取扱・施工説明書】

1. 仮設使用と常設使用に関して

仮設使用	使用ごとに床に施工/撤去(保管)を行う使用方法
常設使用	一定期間、床に吸着した状態を継続する使用方法

2. 製品仕様と標準施工枚数

寸法	900mm×900mm×2.0mm厚(四面R面取) ※裏面特殊吸着フォーム
施工枚数(標準)	コートサイズ / 7.2m×14.4m コネクトマットT枚数 / 8枚×16枚(128枚) ※上記はあくまでも標準サイズであり、必要枚数は場所により異なります

3. 下地の条件

体育館フローリング等

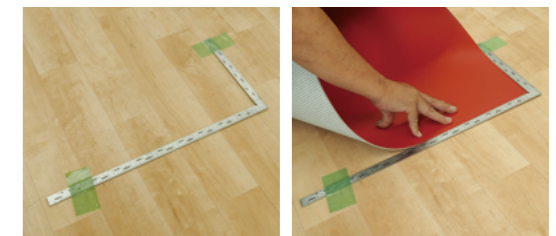
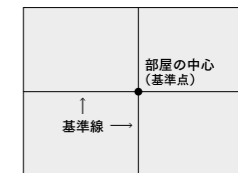
※施工を行う前に、床とコネクトマットTを床面に置いてずれがないかを必ず確認してください
※強い力を加え、横ずれが発生する場合は使用できません

4. 施工時使用工具


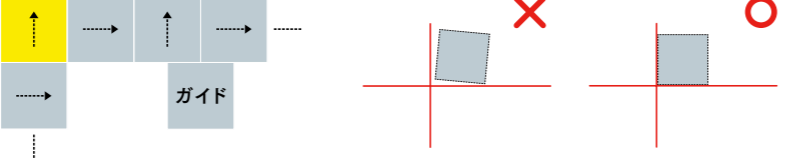

メジャー、直角定規、清掃用モップ、水系 等

5. 施工手順

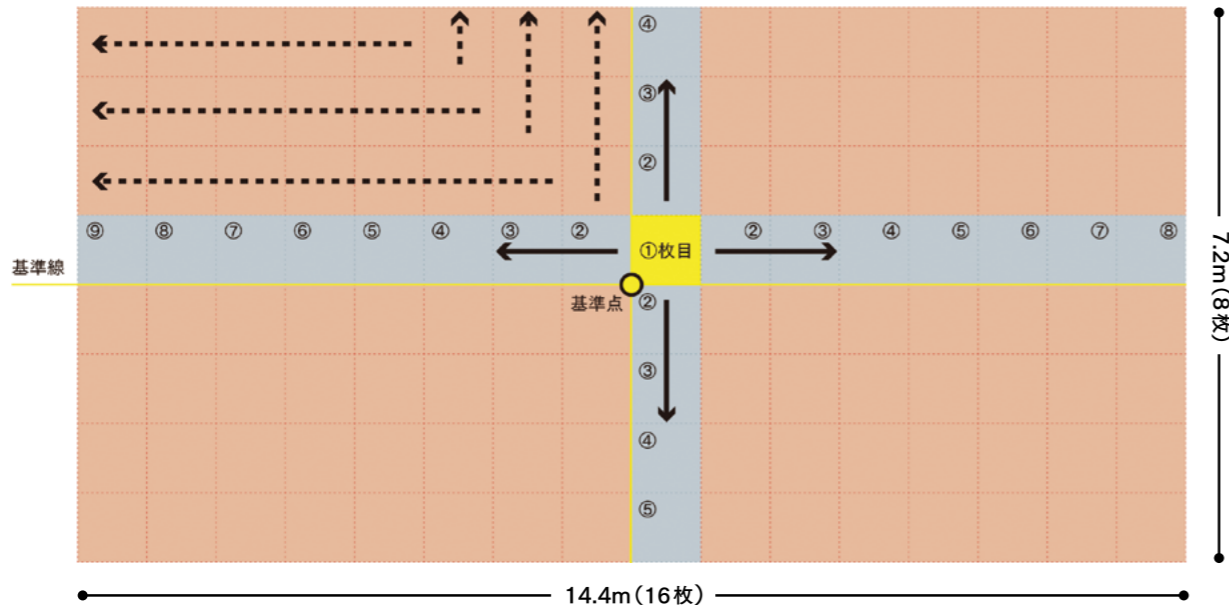
施工環境の準備	・室温を10℃以上に保ち、事前にマットを室内に保管し、室温に馴染ませてください。
床面の清掃	・乾いたモップ(化学モップは使用できません)で床面に付着しているほこり等を除去してください。 ・床面にほこり等が残っているとマットの吸着が悪くなり、横ずれが生じる恐れがあります。
マット裏面の清掃(施工2回目以降)	・裏面の特殊吸着フォームにほこりや土砂が付着している場合は、必ず固く絞った雑巾で拭き取ってください。 詳細は「9. お手入れ」をご参照ください。
①位置決め	・貼り始めの位置(基準点と基準線)を決めます。 卓球台を設置する場所の中心や、部屋の中心からの貼り始めが基本となります。
②基準線	・水系等で床に基準線を引きます。
③フィルム(剥離紙)剥がし	・裏面の透明保護フィルム(2回目以降は専用剥離紙)を剥がしておきます。 ※初回時に剥がした透明保護フィルムは廃棄してください。
④基準マット貼り <図1>黄色部分参照	・基準点に直角定規を置いて、正確な位置に1枚目のマットを貼ります。 ※1枚目の位置がずれると、コート全体がずれますのでご注意ください。



P.3へ続く

<p>⑤十字貼り ＜図1＞灰色部分参照</p> 	<p>・④から端まで基準線に沿って貼り、十字を完成させます。 この時、マットの裏面特殊吸着フォームの方向が、縦・横の順番(市松)になるように貼り付けます。 基準線が見えにくい場合は、定規や新しいマットをガイドとして使用し、直線を出して貼ってください。 貼ったマットは、体重をかけながら足踏みでまんべんなく圧着してください。 浮きがない事を確認してください。</p> 
<p>⑥全面貼り ＜図1＞赤色部分参照</p> 	<p>・十字の外側は、黒の矢印→の順で各列を貼り進めていきます。 貼り方のポイントは＜図2＞を参照してください。 マットの間隔は1mm程度が推奨です。＜図3＞を参照してください。</p>

＜図1＞ 施工の順番

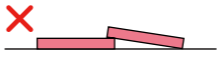
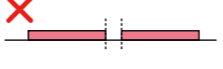
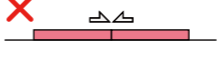
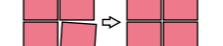


＜図2＞ 貼り方のポイント

- ①マットの対角同士を合わせてつまむように持ち、かどに合わせます。
- ②かどを合わせた後、角度を調整しながら30cm程度隙間が発生しないように置き、その後支点を踏み、残りの部分も調整しながら貼り進めていきます。



＜図3＞ マットの間隔

	<p>マット同士が重なったり、突き上げたりしている場合は、周辺のマットを一度剥がした後、改めてマットを貼り付けてください。</p>
	<p>マット同士の継ぎ目に隙間がある場合は周辺のマットを一度剥がした後改めてマットを貼り付けてください（隙間2mm以下）。</p>
	<p>マット同士を詰めすぎた場合は貼り付け後にマットが突き上げます。この場合は周辺のマットを一度剥がした後、改めてマットを貼り直してください。</p>
	<p>マット4枚が交わるかどが重なった場合は周辺のマットを一度剥がした後、改めてマットを貼り直してください。</p>

※施工面積が大きくなると、下地不陸や詰め方により隙間が出やすくなります。その場合は必要に応じて詰め方等を調整し揃えてください。

<p>撤去・保管 (仮設使用時) ＜図4＞参照</p>	<p>・マットを剥がす前に、必ずマット表面を乾いたモップで拭き、付着しているほこり等を除去してください。 マットの端を浮かせて既存床より剥がし、裏面に専用剥離紙を貼りつけて保管してください。 (専用剥離紙は、光沢のある滑らかな面をマットの裏面に貼ってください)</p>
-------------------------------------	--

＜図4＞ 撤去・保管(仮設使用時のみ)

■ 専用剥離紙の貼りつけ

光沢のある滑らかな面を、マットの吸着面に貼ってください。

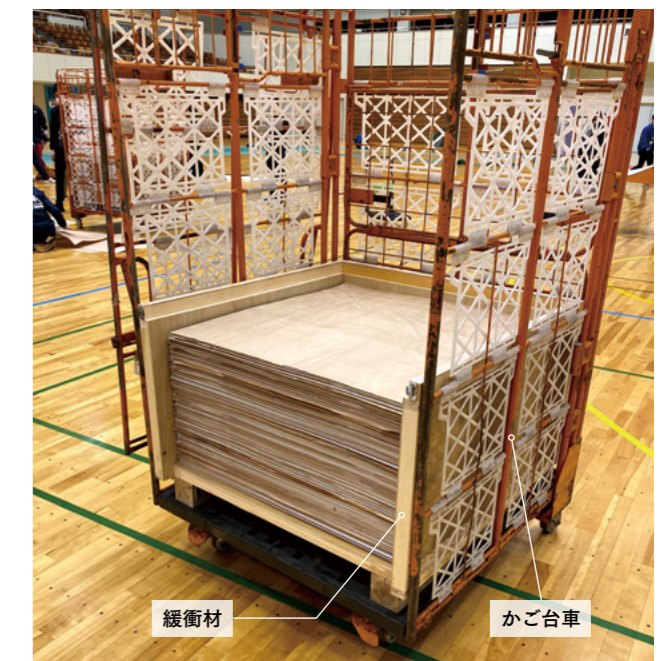


専用剥離紙 (光沢のある滑らかな面)

- 剥離紙の表裏を反対にして保管すると吸着力を劣化させ、使用できなくなります。

■ マットの保管例

最大200枚程度を限度に表面を下にし、重ねて保管してください。

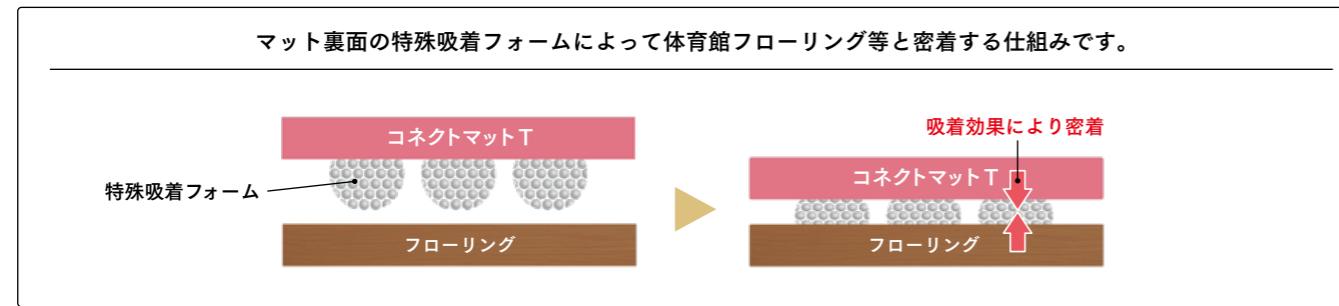


かご台車に保管の場合

- 剥離紙を貼ったマットを裏向きにして積載してください。
- 緩衝材等によりマットのかどや辺を保護してください。
- ずれたまま積載するとマットが変形し使用できなくなります。

6. 取扱説明

安全にご使用いただくために下記の注意事項を必ず守ってください



- コネクトマットTは卓球競技専用マットです。
- コネクトマットTは屋内での使用に限ります。屋外では使用できません。
- 屋内であっても、モルタル・コンクリート・木造床(合板等)下地等の粗面下地には使用できません。
- 土足厳禁です。上履きを使用してください。
- マット表面が水や汗で濡れていると、滑りやすくなる為、雑巾等で拭いてから使用してください。
- 裏面吸着フォームが濡れたマットは、水分をしっかりと除去後、裏返しの状態で直射日光に当てずに乾燥させてください。
※結露により同様の現象が発生する場合があります。一定期間連続で使用している場合はマットを剥がし、確認してください。
- 敷設したマット同士に2mm以上の目地隙がある場合や敷設したマットに1mm以上の段差がある場合(マット同士が重なっている等) マットを貼り直してください。
- 以下の場合は、マットがずれて転倒の危険がありますので使用を中止し、交換またはメンテナンスを行ってください。
※裏面にほこりや土砂等汚れが付着し、吸着力が落ちている場合。
※裏面に欠落(破損)がある場合。

7. 保管方法(仮設使用時のみ)

- 湿気が少なく、直射日光の当たらない暗所にて、透明保護フィルムまたは専用剥離紙を付けて保管してください。
- 裏面を日光にさらした状態や、透明保護フィルムまたは専用剥離紙を付けずに保管すると、特殊吸着フォームが劣化し吸着力が低下します。
- 移送時にも同様に湿気が少なく、直射日光が当たらないようにご注意ください。
- 収納時にかご台車等に積み上げる際、1枚ずつかどを揃えながら裏向きにして積み重ねて保管してください。
- マットをずれたまま積み重ねていくと、マットが変形(反り、折れ曲がり、歪み)し、使用いただけなくなります。

8. 安全点検、使用前点検

点検箇所	点検内容	定期点検時期	標準耐用年数
マット本体	破損、変形(折れ)、吸着力(裏面)	使用毎	2年

・上記標準耐用年数は目安となり、使用環境及び保管状態によって変わります

■使用前点検

以下の内容をご使用前に点検を行ってください

- ①力を入れて横に動かした時に、ずれや剥がれが生じていませんか。
- ②敷設したコネクトマットTが重なっていませんか(1mm以上の段差)。
- ③敷設したコネクトマットTの目地隙はありませんか(2mm以上の目地隙)。
- ④コネクトマットTが平らに全面が吸着できていますか。

異常が確認された場合は速やかに使用を中止し、交換またはメンテナンス等適切な処置をおこなってください。

9. お手入れ

<表面>

水拭き

- 汚れが付着している場合は硬く絞った雑巾またはモップ(化学モップは使用できません) かけ等で水拭き掃除を行ってください。

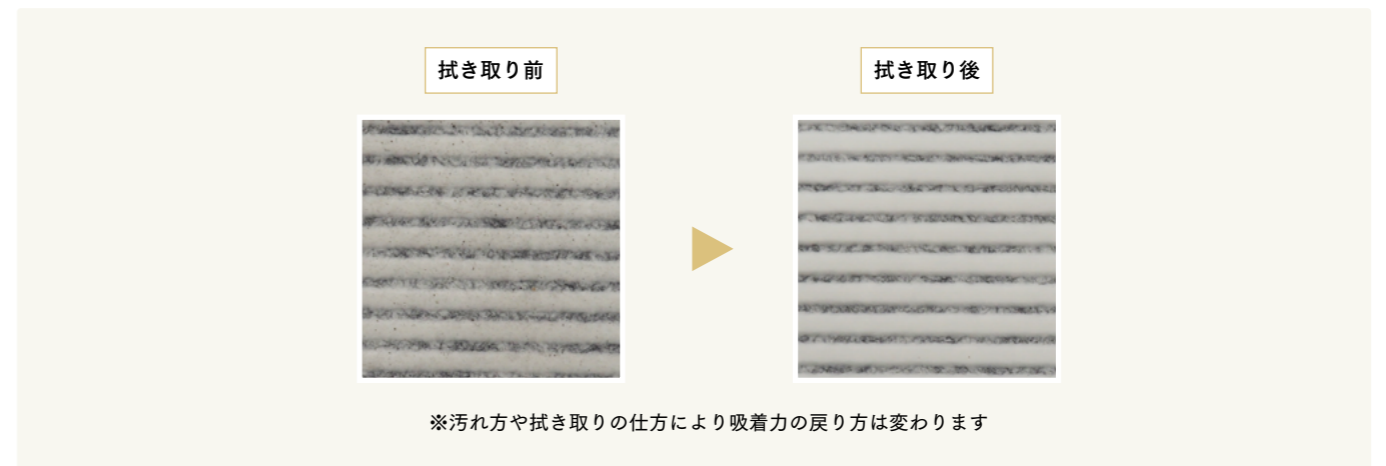
水拭きで取れない汚れ

- プラスチック床用クリーナーや家庭用の床用洗剤等を使用して拭き取ってください。
- 使用に関しては、クリーナーに記載された注意事項及び使用方法を確認の上使用してください。
- 洗剤が残ると滑りやすくなります。水拭きを充分に行い、洗剤を残さないようにしてください。

<裏面>

裏面にほこりや汚れが付着し、吸着力が低下している場合は下記のメンテナンスを行ってください。

- ①雑巾を水で濡らし硬く絞ってください。※マイクロファイバークロス推奨。
- ②特殊吸着フォームの方向に沿って、目に見える汚れが取れるまで優しく拭き取ってください。
- ③専用剥離紙を貼らず、裏返しの状態で直射日光を当てずに乾燥させてください。
- ④乾燥後、吸着力が戻ったことを確認し、再使用してください。



10. 廃棄の場合

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、不要になった製品につきましては、都道府県知事等の許可を得た産業廃棄物処理業者に廃棄を直接していただきますようお願い致します。

11. リサイクルの場合

- コネクトマットTは、新しい材料として再利用(リサイクル)ができる製品です。リサイクルの取組については、下記窓口へご相談ください。

一般社団法人日本インテリア協会 プラスチック床材部会

<https://www.nif.or.jp/about/pfc/recycle>

※リサイクルは法人、会社の代表者(個人事業主)など、事業活動に従事する方が対象となります。また、基本契約書、リサイクル費用が別途発生します。

販売元

製造元

東リ株式会社 特販営業部 特販事業グループ
兵庫県伊丹市東有岡5-125 Tel: 06-6494-6626

